

県民の命と生活を守るのが政治の責任です。 政治を変えなければ、私たちの暮らしは何も変わりません。



青森市のアリーナの操車場跡地で建設を中止し、 青森市の統合病院と中央駅（仮称）整備を推進すべきです。



青森県立中央病院と青森市民病院の統合が進められていますが、建設地には青森市のアリーナが建設されようとしています。これが問題です。イベント開催時の渋滞による緊急車両への影響、冬季の雪の問題が心配です。

自然破壊となる八甲田山の風力発電計画に対する白紙撤回を求めます！

八甲田山での大規模な風力発電が計画されています。

その規模は、国内最大規模で、高さ 200 メートルの風車が 150 基建設され、予定地は、国立公園にもなっており、保安林にも指定されています。

それが、大規模開発によって、破壊されようとしています。

青森市民の飲料水の涵養地であり、景観にも多大な影響を与えます。

青森市民と青森市議会が反対しているこの計画に断固反対し、白紙撤回を求めています。

この 1 年間、計画の中止を目指し、県議会で計画の問題点、不適切さを指摘してきました。



青森県立浪岡高等学校の統廃合に反対します！

地方から県立高校が無くなっています。全国的には、多様性を認める教育に移行しており、一人一人の能力を伸ばす教育が進められています。青森県でも小規模県立高校の魅力化が求められています。その中で、生徒の全国募集は、青森県教育委員会も認め、これにより、特色ある教育と、小規模校の存続への道が開かれました。ところが、青森県立浪岡高校は、県教育委員会による核心の議論もないまま、統廃合が決定されました。決定のプロセスと統廃合に反対し、白紙撤回を求めます。

数年にわたり、県立高等学校教育改革推進計画に対して、問題点を指摘し、標準校の見直しと、地域の県立高校の存続を訴えてきましたが、県教育委員会は、議会の声、パブリックコメントによる県民の声、地区懇談会の地域住民の声にも耳を傾けることはありませんでした。

もう一つの選択肢として、青森市浪岡中学校と統合し、中高一貫校とするため、青森市立浪岡高校の設立を提案いたします。将来的には、青森公立大学と統合し、中高大一貫校の設立を目指します。

英会話教育に対する提言

英会話教育はグローバルスタンダードで行うべきであると議会で訴えてきましたが、県教育委員会からは対応がなされていません。新知事には、実践的な英会話教育を提案し、子どもたちが卒業時には日常英会話ができるようにすることを目指します。



青森県教育委員会の障がい者雇用率は、現在も違法状態です。

以前から 2.0 を下回る低い水準が続いており、子どもを教育する機関が法律を守らないという事は、あってはならないことです。

県議会で問題を指摘し続け、ようやく障がい者雇用率向上のための 5 か年計画が策定されました。鹿児島県の教育委員会を視察し、雇用率達成の取り組みを参考にしました。障がい者と各学校の生徒たちが自然にふれあう環境を育成していきます。

鉄道、バス、タクシーが一体となった新交通システムを構築

JR 東日本は、県内各地の赤字路線の整理をしようとしています。鉄道は地域公共交通の柱であり、存続させるべきです。

新交通システムを構築するため、国、県、市町村と事業者の連携が必要不可欠です。

これまで国や県の支援がなかった民間タクシーも、燃料高騰によって存続が危ぶまれています。国、県のサポートが求められています。

青森空港有料道路は、令和 9 年 7 月 18 日（4 年後）、みちのく有料道路は、令和 11 年 11 月 11 日（6 年後）の無料開放迫る。これにより県内の人流と物流が飛躍的に改善され、県内観光の後押しとなります。

県は、利用者が増え、料金収入が増加すれば、無料開放の時期も前倒し可能とのこと。県民の皆様の積極的な利用をお願いいたします。

